科目名	鍼灸理論２							年度	2025
英語科目名	Acupuncture and Moxibustion Theory 2							学期	前期
学科・学年	鍼灸科　２年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	宮本陽平	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

この科目では鍼灸施術の治効機序を理解することをねらいとする。鍼灸刺激がどのような意味をもった刺激であるのかを考え感覚の受容と伝導を理解すること、神経学的反射を理解し鍼灸刺激によって起こりうる生体反応を理解すること、内因性鎮痛機構を理解することが目標である。また、これら学習する内容を、将来的に一般の患者や、他の医療職種の従事者に対して、鍼灸施術の効果・効能を説明できるようになることを目標とする。

【科目の概要】

鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。

【到達目標】

Ａ：体性感覚の受容と伝導について理解している
Ｂ：神経学的反射について理解している
Ｃ：内因性鎮痛機構について理解している

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	鍼灸刺激の受容と伝導を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	鍼灸刺激の受容と伝導を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	鍼灸刺激の受容と伝導を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	体性感覚の受容器、求心性神経、脊髄内伝導路について認識している	体性感覚の受容器、求心性神経、脊髄内伝導路について認識していない
到達目標 B	神経学的反射機構を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	神経学的反射機構を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	神経学的反射機構を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	神経学的反射機構について認識している	神経学的反射機構について認識していない
到達目標 C	内因性鎮痛機構を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	内因性鎮痛機構を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	内因性鎮痛機構を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	内因性鎮痛機構について認識している	内因性鎮痛機構について認識していない

【教科書】

はりきゅう理論（第3版）東洋療法学校協会編

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験で100％評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	鍼灸理論２	年度	2025
英語表記	Acupuncture and Moxibustion Theory 2	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鍼灸治効の基礎知識	鍼灸治療はなぜ効くのか	1	鍼灸治効	鍼灸施術と生体反応の概略を理解する	3	
			2	鍼灸刺激	鍼灸刺激の性質について理解する		
			3	神経系	神経について1年次の内容を復習し、理解する		
2	感覚の受容と伝導	体性感覚の概要	1	刺激の伝導	刺激の受容と伝導について理解する	3	
			2	感覚	感覚の種類について理解する		
			3	感覚の性質	感覚の一般的性質について理解する		
3	感覚の受容と伝導	触圧覚の理解	1	触圧覚	触圧覚の特徴について理解する	3	
			2	触圧覚	触圧覚の受容器について理解する		
			3	触圧覚	触圧覚の伝導路について理解する		
4	感覚の受容と伝導	温度覚の理解	1	温度覚	温度覚の特徴について理解する	3	
			2	温度覚	温度覚の受容器について理解する		
			3	温度覚	温度覚の伝導路について理解する		
5	感覚の受容と伝導	痛覚の理解	1	痛覚	痛覚の特徴について理解する	3	
			2	痛覚	痛覚の受容器について理解する		
			3	痛覚	痛覚の伝導路について理解する		
6	鍼灸刺激と反射	神経学的反射の概要	1	反射	反射の概要について理解する	3	
			2	反射弓	反射弓について理解する		
			3	反射の分類	反射の分類方法について理解する		
7	鍼灸刺激と反射	体性体性反射の理解	1	体性体性反射	体性体性反射の概要を理解する	3	
			2	伸張反射	伸張反射を理解する		
			3	屈曲反射	屈曲反射を理解する		
8	鍼灸刺激と反射	自律神経反射の理解	1	自律神経反射	自律神経反射の概要を理解する	3	
			2	自律神経系	自律神経の特徴について理解する		
			3	内臓内臓反射	内臓内臓反射について理解する		
9	鍼灸刺激と反射	自律神経反射の理解	1	内臓体性反射	内臓体性反射について理解する	3	
			2	体性内臓反射	体性内臓反射について理解する		
			3	鍼灸刺激と反射	鍼灸刺激による反射について理解する		
10	内因性鎮痛機構	鍼鎮痛概要	1	鍼鎮痛	鍼鎮痛の概要を理解する	3	
			2	疼痛の伝達	痛み刺激について復習し、理解する		
			3	内因性鎮痛機構	内因性鎮痛機構の概要を理解する		
11	内因性鎮痛機構	脊髄分節性鎮痛の理解	1	脊髄分節性鎮痛	脊髄分節性鎮痛の概要を理解する	3	
			2	脊髄分節性鎮痛	抑制性介在ニューロンについて理解する		
			3	脊髄分節性鎮痛	鍼灸治療と脊髄分節性鎮痛の関係について理解する		
12	内因性鎮痛機構	下行性痛覚抑制系の理解	1	下行性痛覚抑制	下行性痛覚抑制の概要を理解する	3	
			2	下行性痛覚抑制	脳幹部からの下行性線維について理解する		
			3	下行性痛覚抑制	オピオイド物質について理解する		
13	内因性鎮痛機構	下行性痛覚抑制系の理解	1	下行性痛覚抑制	オピオイド物質と下行性抑制系について理解する	3	
			2	下行性痛覚抑制	オピオイド拮抗物質について理解する		
			3	下行性痛覚抑制	鍼刺激と下行性抑制系の関係について理解する		
14	総復習	治効機序のまとめ	1	感覚の受容と伝導	鍼灸刺激の受容と伝導について再理解する	3	
			2	反射	鍼灸刺激による反射について再理解する		
			3	鎮痛	鍼灸刺激による鎮痛機序について再理解する		
15	総復習	試験の解答解説 治効機序のまとめ	1	試験解説	試験の内容について理解する	3	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等